

災害フォーラム「熊本地震で何が起きた？防災に対する市民の備え」

災害委員会委員（九州支部担当） 高山峯夫（福岡大学）

1. はじめに

2度の震度7の大地震が発生した熊本地震に続き、鳥取でも震度6強の地震が発生した。2011年の東日本大震災をはじめとし、頻発する自然災害は、国民の災害に対する関心を否応なしに高めてきており、その自然災害に対抗する力としての「地域防災力」の向上のための様々な取り組みが全国各地で行われている。九州支部では、自然災害に関する正しい知識の普及と効果的な災害対策の促進を目的として、2008年以降九州8県の主要都市で市民や地方公共団体職員等を対象とした災害フォーラムを開催してきた。これまでに開催した災害フォーラムでは、地震・強風・火山などテーマとして取り上げ、九州・沖縄地方の地域特性に根差した討論を展開している。今回の災害フォーラムは、熊本地震で震度6強の揺れを経験し、南海トラフ巨大地震によって大きな津波が襲来すると予想されている大分市で開催した。大分県、大分市および大分県建築士会の協力を得て、2016年11月4日に大分県労働福祉会館ソレイユで開催したフォーラム「熊本地震で何が起きた？防災に対する市民の備え」には約90名が参加し、新聞でもその様子が取り上げられた。

小林祐司（大分大学准教授）の司会により、高山峯夫（福岡大学教授）の開会挨拶で始まったフォーラムでは、熊本地震での被害や経験を中心にした4題の講演があった。

2. 講演概要

はじめに神野達夫（九州大学大学院教授・九州支部災害委員会幹事）より熊本地震における地震動の概要と題して報告があった。二度の大地震動

や余震の多さなどの熊本地震の特徴が述べられた後、断層の動きに着目し、地面の下で起こっているひずみやすべりの状況説明が行われた。地震後も変位が戻らず地盤が沈下したままであること、建物に大きな被害をもたらす周期(1~1.5秒)のエネルギーを多く含んでいたことが解説された。特に大分では熊本地震による誘発地震によって大きな地震動を観測し、長周期地震動での被害が生じたことが示された。

続いて熊本地震における被害概要と大分県内での被害と題して菊池健児（大分大学教授・九州支部構造委員会委員長）が講演を行った。熊本地震の被害の特徴と建築学会で行った調査概要が説明され、益城町の前震後と本震後の被害の違いが報告された。その後、益城町の悉皆調査資料に基づき、建物の建築年代や構造種別ごとの被災レベルの割合が示された。また、その他のRC造マンションや耐震補強された建物、文化財、ブロック塀等の被害も紹介された。続いて大分に視点を移し、由布市と別府市で生じた住宅屋根や非構造壁、体育館の鉄骨造屋根の支承部の被害が紹介された。過去の地震の被害を受けた大分県での被害想定と対策による減災効果が示され、防災の取り組みの重要性が強調された。

次に大分大学の小山拓志准教授から熊本地震における液状化の被害—地理学的視点で液状化を捉える—と題して報告があった。液状化のメカニズムと過去の被害事例が紹介され、旧河道や旧湖沼で液状化が発生しやすく、再液状化も頻繁に起こることが示された。自身の調査に基づくと、熊本地震での液状化発生地域は、帯状に分布していることが多くの写真を交えて紹介され、旧河道や自

然堤防の縁、水路等の過去の土地利用状況が発生の一因になっていることが示唆された。また、大分県の液状化危険マップが示され、対策の必要性が述べられた。

最後に大分県防災活動支援センター事務局長の清松幸生氏より防災・減災に対する市民の活動と題して講演が行われた。まず、センターの歴史として阪神淡路大震災と東日本大震災での経験や防災士育成、大分県の自主防災組織の状況、熊本地震での支援活動が紹介された。活動のコンセプト「救えるいのちを救う」を掲げ、地域や学校の防災力向上、災害の教訓を生かす活動を行っていることが説明された。自身の経験に基づき、防災訓練内容や新たな取り組み、被災地支援活動等がユーモアを交えて語られ、主体的な避難所運営の重要性、自助・共助の考え方と地域のコミュニティ力が防災力につながる事が述べられた。

総合討論では、大分県での企業の防災の取り組みへの参画状況や液状化が地元のコンビナート群等に及ぼす影響に質問が及んだ。一般市民向けのフォーラム開催や被害写真や調査情報の自治体へ提供等が社会への還元になるとの意見があった。最後に菊池教授より、このフォーラムが防災に一步踏み出すきっかけとなれば幸いであるとの閉会挨拶がなされた。

3. おわりに

参加者は防災士、自治体職員、建築関連企業、大学関係者等であった。繰り返し広く一般に災害に関する情報を発信することが防災につながるとの意見もあり、本フォーラムのような取り組みが、市民の災害への関心を高め、地域防災力向上の一助となれば幸いである。

本フォーラムの開催には、大分県、大分市、大分県建築士会のご後援をいただいた。開催に際し、多大なご協力いただいた皆様に深くお礼を申し上げます。



開会挨拶



講演の様子



会場の様子



総合討論